



(題字 大井信一 学長)

第322号

(平成2年12月・平成3年1月合併号)



▲ 平成3年度大学入試センター試験の受験者で溢れる
正門からの構内(初日は、冬型が一時緩んで朝から
晴れ上がった。)

目 次

年 頭 所 感 (大井信一学長)	3	関 係 法 令	15
学 内 諸 報		諸 会 議	15
◆ 平成3年度大学入試センター試験の実施	4	叙 位	17
◆ 第2回富山県留学生等交流推進会議 の開催	5	レクリエーション	
◆ 日本海経済研究所公開講演会の開催	6	◆ 平成2年度全国公務員レクリエーション 共同行事富山地区卓球大会	18
◆ 五福地区構内の一斉清掃で美化	7	◆ 学内ビーチバレーボール大会	19
◆ 理学部で学術講演会を開催	7	海 外 渡 航 者	20
人 事 異 動	8	職 員 消 息	20
学 事		お 知 ら せ	
◆ 平成3年度富山大学学生募集要項 (募集人員)の変更	8	◆ 給与法の改正について	21
◆ 平成3年度富山大学入学志願者数の確定	9	◆ 湾岸戦争に伴う海外渡航の自粛等について	26
◆ 平成3年度富山大学特別選抜の概要	10	ー シ リ ーズ ー (郵便豆知識 ⑥)	27
◆ 平成2年度在外研究員追加派遣者の決定	11	主 要 行 事	30
◆ 平成3年度日本学術振興会各種事業内定 者の決定	11		
学内トピックス	12		
寄稿 (海外レポート)			
◆ 「ミュンヘンの墓探し」	13		
— 人文学部助教授 北村 純一 —			

▼ 雪のない平成3年元旦を迎え、
静かなたたずまいをみせる本学
正門からのメインストリート



(表紙写真上) 五福キャンパスからの北アルプス立山連峰の眺望

年 頭 所 感

学長 大井 信一



今年は21世紀まであと10年という節目の年に当たります。昨年の前半は、前年末に連鎖的に起こった東欧革命の熱気の中で東西冷戦が終わり、東側も市場経済に移行して平和と繁栄の90年代が始まると期待していたが、8月の中東湾岸紛争の勃発で世界情勢は一変した。一方、ソ連のベレストロイカもどうなるのか。このように世界情勢は緊迫と先行き不透明のまま越年し、世界中の人々に不安感をいだかせている。長かった東西の冷戦が終わったとたん、米ソ超大国の指導力や影響力が弱まってしまった。ソ連は国内問題で手一杯であるし、米国も中東湾岸危機の展開如何によっては財政的に深刻化する。何とか中東湾岸での戦争を回避し、米国の力の急激な衰退を食い止めなければならない。また、ソ連への緊急援助で経済的破局に陥るのを防ぐことが必要であろう。米ソ協調による冷戦後の新しい世界秩序をできるかぎり早く構築し、東西が協力して第三世界の貧困救済や地球環境の改善などのグローバルな問題解決に貢献できるよう我国の経済大国としての国際協力が強く望まれるであろう。

ところで、我々大学人にとっても今年は厳しい年になると思われる。現在増加中の18才人口は平成4年をピークに急減し、自らの生き残りを真剣に考えなくてはならない大学の冬の時代の到来が目前に迫っているからである。大学の自己改革はもう「待ったなし」の段階に入ったと思われる。昨年、大学審議会は各部会の「審議の概要(その2)」に対して各方面からの意見聴取を行った。国大協も各大学からの意見を踏まえて総会で討議し、意見を提出した。これらの意見を参考に本年2月には大学審議会の最終答申が出る予定であり、これを受けて、文部省は新年度から答申の実施に向けて具体化することであろう。一番大きな改革は、一般教育と専門教育の枠を取り払うことであろう。大衆化した今日の大学では一般教育は大切だといわれながら、その評判はよくない。「高校の授業と変わらないではないか」という酷評は減ったが、学部別ないし学科別に受験して入学した学生が教養課程で足踏みしていることが、大学教育をつまらなくしているという批判は強い。そこで今度の改正では、大学学部全体の

学生数に見合った教員の総定数は決めるが、それを一般教育と専門教育とに分けるのは大学に任せる。また、単位数も一般教育何単位などという規定ははずすことになる。したがって極端にいえば、一般教育ゼロの大学ができてもいいし、逆に一般教育を若干深化させた教養科目ばかりの大学ができて差し支えないことになる。これに対して国大協は、一般教育の重要性を再確認しており、一般教育の内容の充実、一般教育と専門教育の総合化、体系化に対する全学的な真剣な取り組みを各大学に要請している。教育研究組織についても、教養課程と専門課程との分割が一般教育の実体を形式化・画一化してきたことは否定できない。しかし、4年の枠内における安易な一貫教育で一般教育を一方的に圧縮、削減するのは如何なものか。科学技術の進歩と学問分野の総合化・高度化に対応した特色ある一般教育と専門教育の体系化や総合化を考える必要があると思われる。

本学における一般教育と専門教育の見直しについては、教養部、各学部において真剣な取り組みがなされているが、それらの検討を踏まえて全学的な立場から、時代や社会の新しい要請に応じた大学教育の改革とそれにふさわしい実施組織の構築に衆知を集めたいと思っている。

今一つ、昨今にわかに世間の衆目を集めている問題に国立大学の財政窮乏がある。研究・教育に欠かせない施設設備費や研究費の貧困は誠に寒心に堪えないところである。文教施設費などは10年前の1,500億が850億と半減している。教官当たり積算校費もほとんど横ばいである。科研費は10年間に72%増えて558億になったが、申請者の3割にしか当たらない。若手研究者の大学離れも、このような研究環境の悪さがその一因であろう。昨年国大協会長や幹部の方々が総理や大蔵大臣などに会い財政当局の配慮を要請した。国立大学の活性化のため、思い切ったテコ入れを願ってやまない。

最後に、年頭に当たり、教職員の皆様方のますますの御健康、御活躍、御多幸を祈念するとともに、富山大学の更なる前進を期待してやみません。

(平成3年1月4日記)

平成3年度大学入試センター試験が

実施される

平成3年度大学入試センター試験が、去る1月12日(土)、13日(日)の両日にわたって、全国351会場で一斉に実施されました。

今年度が第2回目となるこの試験には、国公私立大学115大学(昨年度より7大学の増)の参加があり、全国の志願者数は、455,855名と過去最高となりました。

富山県内では、6,176名の志願者があり、富山大学(志願者5,096名)と富山医科薬科大学(富山県立富山中部高校試験場、志願者1,080名)において、それぞれ実施されました。(表紙写真参照)

本学試験場では、大学入試センター試験富山大学試験場試験実施要項に基づき、各学部及び教養部の6試験場に分かれて、大井学長を実施本部長とする568名の教職員(富山県立大学19名を含む。)が試験に携わり、無事終了しました。

なお、本学試験場における受験状況は、次のとおりでした。

また、本年から受験者及び父兄等の控室は、学生会館のほか黒田講堂のホール・会議室も当てられ、好評を博しました。

(受験状況)

	1 月 12 日 (土)			
試験教科	外国語	数学(A)	数学(B)	理科(A)
時 間	10:00 ~11:20	12:50 ~13:50	14:40 ~15:40	16:30 ~17:30
志願者数	5,096名	5,096名	5,096名	5,096名
受験者	4,885名	4,576名	4,360名	1,870名
受験率	95.86%	89.80%	85.56%	36.70%

	1 月 13 日 (日)			
試験教科	理科(B)	国 語	社 会	理科(C)
時 間	10:00 ~11:00	12:30 ~13:50	14:40 ~15:40	16:30 ~17:30
志願者数	5,096名	5,096名	5,096名	5,096名
受験者	1,796名	4,833名	4,516名	1,824名
受験率	35.24%	94.84%	88.62%	35.79%

- (注) 1. センター試験は、各大学が指定する教科・科目の中から志願者が選択するため、教科・科目により受験者数が大きく異なっている。
2. 試験教科のうち数学(A)は数学Ⅰ、数学(B)は数学Ⅱ、工業数理、簿記会計Ⅰ・Ⅱ、理科(A)は物理、地学、理科(B)は化学、理科Ⅰ、理科(C)は生物の科目である。



▲ 大学入試センター試験の第1限(外国語)に挑む受験生の真剣な表情

第2回富山県留学生等交流推進会議の開催

—— 留学生の宿舍問題の推進を確認 ——

平成元年11月に設立・発足した富山県留学生等交流推進会議（議長 大井富山大学長）の第2回会議が、去る11月28日（水）名鉄トヤマホテル「薫風の間」で開催されました。

会議では、具体的活動内容を鋭意検討している同会議運営委員会でまとめられた事項の報告があり、これに基づいて「富山県内在住の外国人留学生等の支援方策について」協議され、**宿舍費の補助及び宿舍の確保**に関して、概要次のとおり積極的に関係各機関が推進していくことが確認されました。

○ 宿舍費の補助

- (イ) 民間アパート等に入居している私費外国人留学生に対する家賃の一部補助
- (ロ) 敷金、礼金を支払った場合の無利子による融資制度

○ 宿舍の確保

- (イ) 大学における留学生会館の設置
- (ロ) 企業の社員寮の開放
- (ハ) 民間アパート等の借上げ（指定宿舍制度）
- (ニ) ホームステイの促進

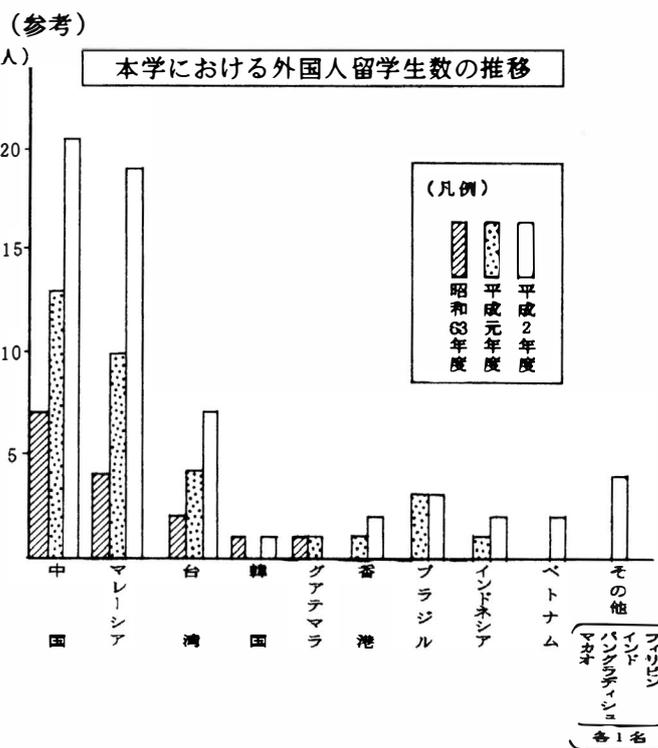


▲ 留学生の宿舍問題を当面の課題とすることになった



▲ 開会の挨拶をする大井学長

また、新たに構成員として、富山国際大学、大山町及び富山県立大学の加入が承認されました。



国籍	中国	マレーシア	台湾	韓国	グアテマラ	香港	ブラジル	インドネシア	マカオ	ベトナム	インド	フィリピン	計	摘要
昭和63年度	7	4	2	1	1								15	
平成元年度	13	10	4		1	1	3	1					33	
平成2年度	21	19	7	1		2	3	2	1	2	1	1	61	

(注) 上記数は、各年度の10月1日現在の在籍外国人留学生数である。

黒田講堂大ホールに満員の聴衆を集め 日本海経済研究所公開講演会

—— 篠原三代平 東京国際大学教授が講演 ——

本学経済学部では、日本海経済研究所の主催で毎年公開講演会を開催していますが、今年度は、東京国際大学 篠原三代平教授を招へいして去る11月28日(水)、「経済大国の興隆と衰退」というテーマで、黒田講堂大ホールに、学生、教職員、卒業生、一般市民など、ほぼ満員の420名余りの聴衆を集めて行われました。



▲ 講演する篠原東京国際大学教授

最初に、吉原節夫所長(経済学部長)が開会の挨拶に立って、日本海経済研究所の沿革、活動などについて述べるとともに、経済学部に設置される予定の大学院の説明を行いました。

続いて、篠原教授が熟っぽく次の要旨の講演をされました。

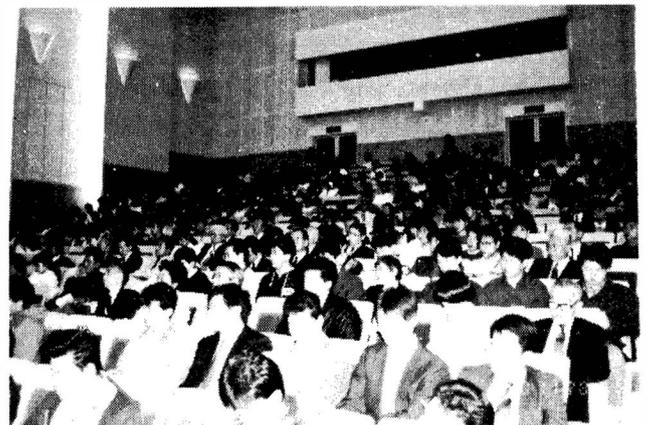
まず、産業発展の歴史をみると、経済大国と貿易相手国との間で、篠原教授が名づけたブーメラン効果(逆輸入効果)が出てくることを解説し、それが過去には英米間においても起きたが、最近では日本の技術や企業が新興工業国に進出し、安い製品が逆に日本に向けて輸出され当該産業に打撃を与える現象がみられることを説明されました。

次いで、日米両経済大国の関係に焦点をあて、実証的な数値をあげながら、現在のアメリカは産業のダイナミズムがなくなり、過剰消費体質が定着していると指摘されました。その上で、日本でも内需拡大と経済収支の黒字が続いているが、その黒字のGNP比率は年々下がってきており、内需拡大だけを推進するなら

ば、アメリカ同様過剰消費体質が定着し経済収支も赤字となる事態が生じ、経済大国としての地位も短命に終わると警告され、今大切なことは内需拡大と経常収支のバランスをとることであると強調されました。

そして、膨大な経常黒字をもつ日本は、米国と一体となって国際経済の混乱を阻止する責任をもっており、そのためには経常黒字を持続することが重要であると「経常黒字不可欠説」を主張されました。

最後に、現在日本に求められている資金援助については、資金還流の原理・フィロソフィに基づいて、人道主義的援助、低開発国援助、食糧・エネルギーの安全保障、地球環境保全、教育文化交流、あるいは累積債務国の下支え、基軸通貨ドルの安定のために支出されるべきであると教示され、全世界の中の日本、アジアの中の日本として、両方バランスさせながら、大きな役割を演じなければならない、と結ばれました。



▲ 一般社会人を含め満員の聴衆が詰めかけた黒田講堂ホール

《篠原三代平教授の略歴》

1919(大正8)年、富山県高岡市生まれ。

高岡高等商業学校、東京商科大学卒業。

一橋大学教授、経済企画庁経済研究所長、成蹊大学教授を経て、現在、東京国際大学教授。(財)統計研究会理事長、(財)アジア経済研究所会長等を歴任。1988年には日本学士院賞を受賞された。

「産業構造論」(筑摩書房1966年刊)、「ミクロ経済学」(筑摩書房1979年刊)等、著書・編著書多数。

五福地区構内一斉清掃の実施で環境美化を図る

去る12月3日(月)の午前中に、本学五福地区構内清掃が一斉に実施され、大勢の職員の参加により各建物の周辺が美化されました。

当日は、時折陽は射すものの冷たい雨もばらつく天候ではありましたが、自分たちの職場の環境美化と、教育・研究の場にふさわしい環境づくりのため、参加した職員は入念に空缶や空瓶、紙屑、タバコの吸い殻



▲ 歩道の落葉を掃き寄せる職員たち

等のごみを拾い、あるいは落葉を掃き寄せる等、熱心に清掃を行いました。この結果、思いがけないほど大量のごみが集められ、職員一同驚きの声を上げていました。

なお、こうした職場環境美化活動を今後とも続けた方がよい、との感想が聞かれ、環境美化意識の高揚がうかがえました。



▲ 大量に集積された空缶等のごみ

— 理 学 部 で —

◀ ◁ 学術講演会を開催 ▷ ▶

コペンハーゲン大学地球物理学研究所のH. B. クラセン准教授が、本学理学部雪氷学講座を訪問されたのを機会に、去る12月1日(土)同博士による講演「極地氷床に記録された古環境変動」が理学部2号館第3講義室において行われました。

講演は、地球の古環境、特に気候変動についてスライド・ビデオを活用して、楽しく、判りやすく説明されており、約30名の教官・学生がリラックスして聞くことができました。

また、同講演において、現在、グリーンランドで進行中のグリップ (Greenland Icecore Project) という氷床深層コア掘削・解析計画についての最新情報も紹介され、環境変動研究の最前線を身近に感じることができ、極めて有意義でした。

また、雪氷学講座10周年記念講演会が、去る12月22

日(土)黒田講堂会議室で開催されました。

まず、同講座の庄子助教授から、南極やグリーンランドの氷床におけるポーリングコア研究の地球環境科学的意義について、実測データを交えて紹介されました。

次いで、川田助手が雪氷学講座発足以前の富山大学における雪氷研究の歴史と雪崩研究について紹介しました。

最後に、対馬教授が同講座発足後の歩みと主な研究テーマについて、当時のスライドを用いて紹介しました。

同講座の卒業生や在学学生、教官など約50名の出席者には10周年記念誌が配布されたほか、会場には卒業論文集、教官の研究論文集、講義テキストその他教育・研究成果の展示もされ、講演会は盛会裡に終了しました。
(理学部)

平成3年度 入学志願者数 (確定:平成3年2月5日)

学部	学科・課程	平成3年度			平成2年度			備考	
		募集人員	志願者数	倍率	募集人員	志願者数	倍率		
人文学部	人文学科	95人	743人	7.8倍	95人	322人	3.4倍		
	語学文学科	95	593	6.2	95	359	3.8		
	計	190	1,336	7.0	190	681	3.6		
教育学部	小学校教育課程 小教員養成課程	100	505	5.1	100	412	4.1		
	中学校課程 中教員養成課程	50	393	7.9	50	331	6.6		
	養護学校課程 養教員養成課程	20	126	6.3	20	139	7.0		
	幼稚園課程 幼教員養成課程	30	205	6.8	30	234	7.8		
	情報教育課程	40	230	5.8	40	183	4.6		
	計	240	1,459	6.1	240	1,299	5.4		
経済学部	昼間主 コース	経済学科	159	831	5.2	144	797	5.5	
		経営学科	124	749	6.0	124	823	6.6	
		経営法学科	102	551	5.4	102	912	8.9	
		小計	385	2,131	5.5	370	2,532	6.8	
	夜間主 コース	経済学科	20	63	3.2	20	89	4.5	
		経営学科	20	63	3.2	20	57	2.9	
		経営法学科	20	57	2.9	20	56	2.8	
		小計	60	183	3.1	60	202	3.4	
	計	445	2,314	5.2	430	2,734	6.4		
	理学部	数学科	53	449	8.5	43	320	7.4	
物理学科		35	157	4.5	35	187	5.3		
化学科		43	154	3.6	43	150	3.5		
生物学科		35	241	6.9	35	266	7.6		
地球科学科		27	192	7.1	32	170	5.3		
計		193	1,193	6.2	188	1,093	5.8		
工学部	電気情報工学科	132	900	6.8	132	580	4.4		
	機械システム工学科	101	692	6.9	101	734	7.3		
	物質工学科	83	678	8.2	83	676	8.1		
	化学生物工学科	86	745	8.7	86	369	4.3		
	計	402	3,015	7.5	402	2,359	5.9		
合計	1,470	9,317	6.3	1,450	8,166	5.6			

- (注) 1. 募集人員には、経済学部「昼間コース」経済学科の増員(15)及び理学部数学科の増員(10)を含む。
 2. 理学部の募集人員は、定員一部留保第2次募集人員物理学科(12)及び地球科学科(5)を除く。
 3. 人文学部、経済学部、理学部、工学部の志願者数には、先に実施された推薦入学、社会人特別選抜の志願者(436)を含む。

平成3年度富山大学推薦入学、帰国子女・社会人特別選抜状況

(平成3年2月9日)

区分	学部	学 科 等	募集人員	志願者数	受験者数	欠席者数	合格者数	
推 薦 入 学	人 文	人 文 学 科	10名程度	40 人	38 人	2 人	7 人	
		語 学 文 学 科		29	29	0	7	
		計		69	67	2	14	
	経 済	昼 間 主 ス	経 済 学 科	30名以内	24	24	0	13
			経 営 学 科		32	30	2	18
			経 営 法 学 科		1	1	0	0
		計	57	55	2	31		
		夜 間 主 ス	経 済 学 科	20名程度	16	16	0	11
			経 営 学 科		13	13	0	5
	経 営 法 学 科		11		11	0	6	
	計	40	40	0	22			
	理	数 学 学 科	6名以内	128	125	3	6	
		計	6名以内	128	125	3	6	
	工	電子情報工学科 普通・理数科	13名以内	35	35	0	13	
		電子情報工学科 専門(工業)	6名以内	11	11	0	6	
		機械システム工学科 普通・理数科	10名以内	21	20	1	10	
		機械システム工学科 専門(工業)	5名以内	6	6	0	2	
		物質工学科 普通・理数科	8名以内	17	16	1	8	
		物質工学科 専門(工業)	4名以内	2	2	0	0	
		化学生物工学科 普通・理数科	8名以内	12	12	0	8	
化学生物工学科 専門(工業)		4名以内	2	2	0	0		
計		約58名	106	104	2	47		
合 計		124名程度	400	391	9	120		
帰 国 子 女 特 別 選 抜	人 文	人 文 学 科	若干名	0	0	0	0	
		語 学 文 学 科	若干名	0	0	0	0	
		計	若干名	0	0	0	0	
	経 済	昼 間 主 ス	経 済 学 科	若干名	0	0	0	0
			経 営 学 科		0	0	0	0
			経 営 法 学 科		0	0	0	0
		計	若干名	0	0	0	0	
	理	数 学 学 科	若干名	0	0	0	0	
		物 理 学 科	〃	0	0	0	0	
		化 学 学 科	〃	0	0	0	0	
生 物 学 科		〃	0	0	0	0		
地 球 科 学 科		〃	0	0	0	0		
計	若干名	0	0	0	0			
合 計		若干名	0	0	0	0		
社 会 人 特 別 選 抜	人 文	人 文 学 科	若干名	4	3	1	1	
		語 学 文 学 科	〃	6	6	0	2	
		計	若干名	10	9	1	3	
	経 済	夜 間 主 ス	経 済 学 科	20名程度	7	7	0	3
			経 営 学 科		9	9	0	8
			経 営 法 学 科		9	9	0	7
		計	20名程度	25	25	0	18	
	理	生 物 学 科	若干名	1	1	0	1	
計		若干名	1	1	0	1		
合 計		20名程度	36	35	1	22		
総 計		144名程度	436	426	10	142		

平成2年度文部省在外研究員派遣者の決定

種 類	部 局 名	職 名	氏 名	主たる滞在地名及び当該滞在地の属する国名並びに派遣先の機関名	調 査 研 究 題 目	派 遣 期 間
若手教官	理学部	助 手	笠原一世	オタワ (カナダ) カナダ国立研究所	イオン会合に基づく分離・前濃縮法による環境水中の微量成分の分析に関する研究	平成3年3月20日 ～ 平成4年1月19日

平成3年度日本学術振興会各種事業内定者の決定

○ 特定国派遣

部 局	職	氏 名	派 遣 国	主たる訪問先	研 究 課 題 名	派 遣 期 間
人文学部	教 授	藤井一行	ソビエト連邦	ソ連科学アカデミー ソ連史研究所	1920年代のソ連における初期スターリン主義の研究	平成3.5.1～3.6.30
”	助教授	檀上 寛	中華人民共和国	中国人民大学	明朝専制国家と支配イデオロギーに関する研究	平成3.10.1～4.7.31

○ 国際共同研究

部 局	職	氏 名	相手国代表者所属・職・氏名	研 究 課 題 名	研 究 期 間
教育学部	教 授	田中 晋	ソビエト連邦, 科学アカデミー極東支部 生物学土壌学研究所研究室長 E.A.Makar chenko	極東地域の河川生態系の構造と機能に関する研究	平成3.4.1 ～ 平成5.3.31

○ 外国人招へい研究者

部 局	職	氏 名	招へい研究者所属・職・氏名	研 究 課 題 名	招へい期間
教育学部	助教授	高橋春成	オーストラリア, クインズランド大学 経済学科教授, Tisdell, C.	再野生化家畜に関する地理学的研究 —日本とオーストラリアの比較研究—	平成3.9.1 ～ 平成3.10.15

学内トピックス

附属養護学校のスクールバスが新車に更新される

去る12月19日(水)本学教育学部附属養護学校にモダンなスクールバスが納車されました。新車のスクールバスは、白を基調に緑と黒のストライプが横に入った精悍なスタイルをした、日産ディーゼル(185馬力)の45人乗りのデラックスバスです。また、室内装備として、冷暖房設備はもちろん、ビデオデッキ付きカラーテレビやポトルクーラーまで付いたしゃれたものです。

納車の翌日には、宮山成田山での安全祈願のお祓いを受け、小春日和の陽光がまぶしい街頭に関係者を乗せて試乗会が行われ、披露されました。なお、残念なことに待ちに待った児童・生徒へのお披露目は、冬期休業期間中ということで、新学期までお預けとなりましたが、本当にビックなお年玉になります。



▲ 更新されたモダンなスクールバス

教職員と留学生との懇談会が開催される

毎年恒例になっている「教職員と外国人留学生との懇談会」が、今年は12月13日(木)富山第一ホテルにおいて、学長、部局長、指導教官、国際交流委員会留学生部会委員、カウンセラーの教官、そして中国、マレーシアなど11カ国61名の留学生等、併せて125名の出席を得て開催されました。

懇談会はまず大井学長の開会の挨拶で始まり、吉原経済学部長の音頭による乾杯で懇談に移り、留学生の自己紹介やお国自慢の歌などが披露され、会場からは盛んな拍手を受けるなどして盛り上がり、お互いの親睦と交流を深めました。



▲ 懇談会の冒頭を飾った学長の挨拶



▲ 自国の歌を披露する留学生たち

寄稿 海外レポート

ミュンヘンの墓探し

人文学部 助教授 北村 純一

Insel 社から F. und G. Oberhauser 編の、Literarischer Führer durch die Bundesrepublik Deutschland という便利な本が出ています。訳すとタイトルは「文学旅行案内 ドイツ連邦共和国版」というところでしょうか。町別の索引と作家別がついていて、例えばイブセン (Ibsen) と引くとミュンヘンとベルリンに記述があって、このノルウェーの劇作家は1880年から1891年までの長きにわたってミュンヘンに住まいし、その最後の6年は Maximilianstraße の32番地に住んで、しかもそこには記念板が掲げている。ベルリンではストリンデルベリ (August Strindberg) やハオプトマン (Gerhart Hauptmann) と共に、Poststraße の23番地にあった、Knoblauchhaus (訳せばニンニク屋) という酒場の常連だった、とたちどころに分かります。作家一人一人の伝記を調べてもなかなか番地までは書いていませんから、この本の重宝さが分かっていくものなのです。

初版は1974年に出ていて、まだ東西の冷戦の続く中、ドイツ統一など夢のまた夢の時代ですから、いわゆる西ドイツの町々の案内で、東ドイツ、すなわち国としては消滅してしまったドイツ民主共和国の町は載っていません。660ページもの大部な本で、ちょっと旅行鞆に忍ばせるには重すぎたのですが、今は同じ Insel 社から、ペーパー・バック版が出ていて、紙も薄くなって、版も小振りになったので、これなら旅行するときに持ち歩くのも可能です。しかも初版にあった色々な間違いを訂正してあります。これはドイツ文学に少しでも関わった者が、ドイツにでかける時は、本当に必携の本です。

昨年3月、文部省の在外研究員でミュンヘンに行き、早速これを買って求めました。そして滞在中、ミュンヘンに関係した作家がどこに住んでいたのか、どんな記念板が掲げられているのか、どんな墓に眠っているのか、探し歩きました。これが私たちのような外国屋が、外国に行った時の楽しみの一つなんです。

人口130万足らずの都市ミュンヘンは、日本の大都

会に比べると大したことはありませんが、これでドイツ連邦共和国第2の大都会で、文化的な歴史を誇る都市ですから、多くの文学上の出来事の舞台になっています。その一つがパリのカバレット、Chat Noir (黒猫) をモデルに1901年に創られたカバレット、Elf Scharfrichter (11人の死刑執行人) です。(カバレットというのは日本でいえば寄席のようなものです) ここでは政治批判、社会批判のシャンソンが歌われたり、寸劇が上演されたりしました。これはミュンヘン大学のすぐ裏の通りTurkenstraße の28番地にありました。このカバレット「11人の死刑執行人」で活躍したのが劇「地霊」(Erdgeist)、「パンドーラの箱」(Die Buchse der Pandora) で日本にも紹介されているフランク ヴェーデキント (Frank Wedekind) です。プレヒトも若い時はヴェーデキントのファンで、ヴェーデキントが1918年3月に突然亡くなったときには、新聞に熱烈な追悼文を書き、当時まだ住んでいた生まれ故郷アオクスブルク (Augsburg) で友人達と慰霊祭を行い、わざわざミュンヘンに葬儀に参加するために出かけ、棺の中のヴェーデキントの遺体を見えています。

このヴェーデキントの墓はミュンヘンの西南部にある、Waldfriedhof (訳すと「森林墓地」) にあると、先述の「文学旅行案内 ドイツ連邦共和国版」には書いてあります。これは是非見に行かねばなりません。墓場の何処にあるのか、詳しいことは分かりませんが、昔ベルリンのユグノー教徒の墓場でプレヒトやヘーゲルの墓を捜したり、チュービンゲンの市営墓地でヘルダーリンやウーラントの墓を留学仲間案内してもらったり、ゲッティンゲンの市営墓地で物理学者オットーハーン (Otto Hahn) や数学者フェーリックス クライン (Felix Klein) の墓を捜したり、挙げ句の果ては、トッリアで生家を見たもので最後の場所も見てもこうとロンドンのマルクスの墓を見に行ったりした経験から、有名人が葬られている墓場にはそれが墓場の何処なのか丁寧な案内のあるのが普通ですか

ら、なんとかなるさと、この「森林墓地」に5月6日に出かけて行きました。ところがこれがとんでもない。墓地の区画が描いた地図が、掲示板に貼ってあるだけで、有名人の墓の案内などどこにもありません。この墓地は東西2キロメートル位の幅でノの字形に南西に2キロ半位伸びています。この名前どおり森林そのものが墓地になっているだけだっ広い敷地の中の無数の墓の墓名をいちいち読んで行く忍耐力はいくらなんでも持ち合わせません。墓参りに来た人が餌をやるせいか、人なつっこくよって来るリスに聞くわけにもいきませんし、諦めて帰ろうとしたら、掲示板に本の宣伝が出ているのに気づきました。『Wer? Wann? Wo? Persönlichkeiten in Münchner Friedhöfen』という本です。タイトルは訳すと「誰が・何時・何処でミュンヘンの墓場の有名人」となります。ああこれを買えばいいのかと思って、さっそく本屋に行って尋ねたら、さすが郷土愛の特別強い土地柄、ちゃんと置いてありました。ところが買って帰ってよく見たら肝心の墓地の細かな地図が無いんです。読んでみてやっと、この本は続編で、前編の『Letzte Heimat』「最後の故郷」というのを買えばいいんだと分かりました。それで次の日、この前編を買って来ました。これもよくできた本で、ミュンヘンの墓地に葬られている有名人(といってもミュンヘンのローカルな有名人が殆どですが、)の略歴が書いてあって、何年何月何日に亡く

なって、ミュンヘンにいくつもある墓地のどの墓地に、しかもその墓地の、日本の住所流の言い方をすれば何丁目何番地何号に葬られているかが載っています。いわば墓地のアドレス・ブックです。ミュンヘンのいくつもの墓地の詳しい地図も載っていますから、それで墓場の何処なのか一目瞭然に分かるようになっています。この本の助けでなんとか5月9日に見つけ出したのが、この文に付けて載せてもらった写真に写っているヴェーデキントの墓です。捜し出してみたら、直径50センチ程高さ2メートル程の円柱の下から3分の2程の高さのところにヴェーデキントのレリーフがあり、その円柱の上に金色の球が乗っていて、しかもその上にペガサスが羽撃いているという、まあ趣味の良さを讃えるにはちょっと躊躇したくなる派手な墓石でした。

筆者は、平成元年度文部省在外研究員として、平成2年3月1日から平成2年12月31日までの間「ドイツ・パラデ史の研究」のため、ドイツ連邦共和国・ミュンヘン大学へ外国出張されました。



▲ 劇作家 フランク ヴェーデキント の墓

第5回補導協議会(11月8日)

(審議事項)

- (1) 平成2年度在来生合宿研修について
- (2) その他

第4回授業料等減免選考委員会(11月8日)

(協議事項)

- (1) 平成2年度後期分授業料免除者の選考について
- (2) その他

第7回学寮補導委員会(11月8日)

(審議事項)

- (1) 風呂用温水ポイラー燃料費について
- (2) その他

第9回評議会(11月9日)

(審議事項)

- (1) 平成3年度富山大学教育専攻科学生募集要項について
- (2) その他

第10回事務協議会(11月9日)

(議 題)

- (1) 当面の諸問題について

第2回大学入試センター試験実施委員会(11月20日)

(審議事項)

- (1) 平成3年度大学入試センター試験富山大学試験場の基本方針(実施体制)について
- (2) 平成3年度大学入試センター試験富山大学試験場の試験室、志願者及び監督者の部局別割当てについて
- (3) 平成3年度大学入試センター試験富山大学試験場試験実施要項について

第11回事務協議会(11月22日)

(議 題)

- (1) 当面の諸問題について

第7回入学試験管理委員会(持ち回り)(11月26日)

(議 案)

- (1) 平成3年度富山大学入学試験問題作成委員について(追加)
- (2) 平成3年度富山大学入学試験問題採点委員について

- (3) 平成3年度富山大学入学試験調査書審査委員について

- (4) 平成3年度富山大学学生募集要項(募集人員)の変更について

- (5) 平成3年度富山大学入学試験電子計算機処理委員の交替について

第4回附属図書館商議会(11月26日)

(報告事項)

- (1) 平成2年度北信越地区国立大学附属図書館事務(部・課)長会議について

(審議事項)

- (1) 図書購入費の追加予算について
- (2) CD-ROMの導入について

第3回情報処理センター運営委員会(11月27日)

(審議事項)

- (1) センター長の推薦について
- (2) 副センター長の任期について
- (3) その他

第4回大学院委員会(11月30日)

(審議事項)

- (1) 富山大学大学院学則の一部改正について
- (2) 平成3年度富山大学大学院理学研究科(修士課程)及び工学研究科(修士課程)第2次学生募集要項について
- (3) その他

第8回学寮補導委員会(12月7日)

(審議事項)

- (1) 寮生との話し合い(いわゆる団交)について
- (2) その他

第10回評議会(12月14日)

(審議事項)

- (1) 富山大学学長候補者選挙管理委員会の設置について
- (2) 平成3年度富山大学入学者選抜試験推薦入学及び社会人特別選抜合格者の判定について
- (3) 平成3年度大学入試センター試験富山大学試験場試験実施要項について
- (4) 平成3年度富山大学教育専攻科学生募集要項について

レクリエーション

平成2年度全国公務員レクリエーション共同行事
富山地区卓球大会で本学Aチームが優勝!!

平成2年度全国公務員レクリエーション共同行事富山地区卓球大会が、去る11月30日(金)富山県総合体育センターにおいて開催されました。今大会には10事業所から11チームの参加があり、本学からはA、Bの2チームが参加しました。

本学A、B両チームとも予選リーグ戦を快勝し、決勝トーナメント戦に進出しました。準決勝は本学チームどおしの対戦となり、勝ったAチームが決勝戦でも勝ち優勝しました。一方、Bチームも3位決定戦に勝ち3位となりました。

なお、成績は次のとおりでした。

優	勝	富山大学Aチーム
次	勝	富山医科薬科大学チーム
3	位	富山大学Bチーム

(予選リーグ)
(Aブロック)

チーム名	食糧事務所	富山大学A	中部通産局	富山医薬大	順位
食糧事務所	—	0-5	1-4	0-5	4位
富山大学A	5-0	—	4-1	2-3	2位
中部通産局	4-1	1-4	—	1-4	3位
富山医薬大	5-0	3-2	4-1	—	1位

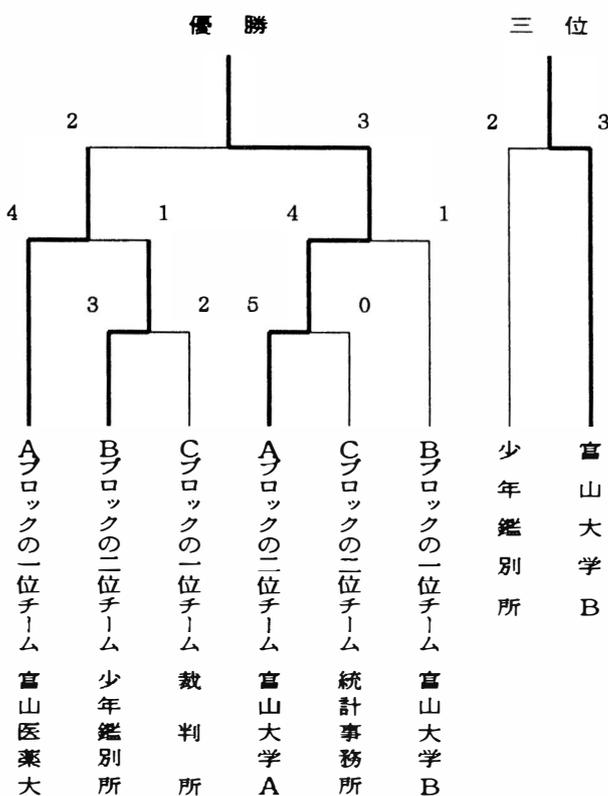
(Bブロック)

チーム名	財務事務所	労働基準局	少年鑑別所	富山大学B	順位
財務事務所	—	2-3	2-3	3-2	3位
労働基準局	3-2	—	1-4	0-5	4位
少年鑑別所	3-2	4-1	—	2-3	2位
富山大学B	2-3	5-0	3-2	—	1位

(Cブロック)

チーム名	裁判所	統計事務所	法務局	順位
裁判所	—	3-2	3-2	1位
統計事務所	2-3	—	3-2	2位
法務局	2-3	2-3	—	3位

(決勝トーナメント)



学内レクリエーション

〈ビーチバレーボール大会〉

本学レクリエーション委員会体育部会排球班と文部省共済組合富山大学支部共催による平成2年度学内ビーチバレーボール大会が、去る12月1日(土)本学体育館において実施されました。

本大会は、11チーム約70名の参加者を得て、トーナメント戦により行われ、成績は次のとおりでした。

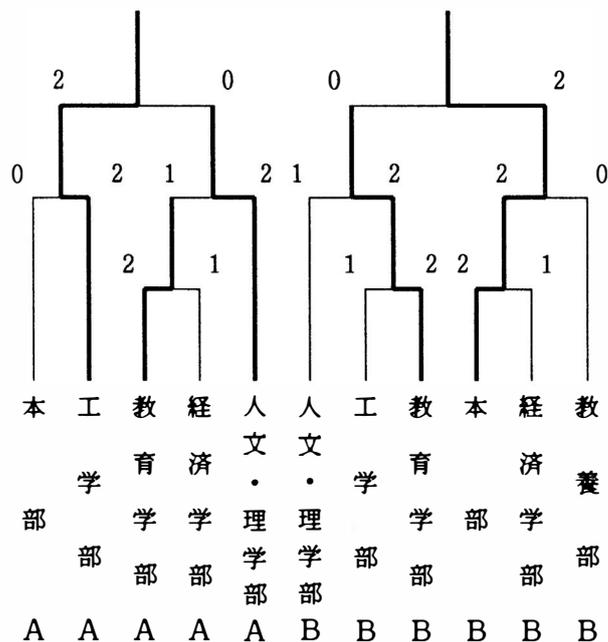
- 優 勝 工学部Aチーム
- 次 勝 本部Bチーム
- 3 位 教育学部Bチーム
- 3 位 教育学部Aチーム (敗者復活戦)

(Aグループ)

(Bグループ)



▲ 初のビーチバレーボール大会であったが、熱戦が繰り広げられた。



- 1位決定戦 工学部A×本部B (2×1)
- 3位決定戦 人文・理学部A×教育学部B (1×2)
- 〃 教育学部A×工学部B (2×1)
- (敗者復活戦)

助 教 授 Mary Ann Mooradiann
(英 語) (M.A.ムラジアン)

〈電 話 設 置〉
教育学部

文部事務官 北 治 夫
(学 務 係)

附属図書館

文部事務官 京 藤 貫
(学術情報係長)

〈改 姓〉

人文学部・理学部

事務補佐員 北 川 順 子 (旧姓 亀谷)
(物理学教室)

水素同位体機能研究センター

助 教 授 松 山 政 夫

工 学 部

事務補佐員 赤 塚 正 子 (旧姓 藤村)
(材料設計工学)

お知らせ

給与法の改正について

「一般職の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案」は、平成2年12月18日に第120通常国会で成立し、同月26日平成2年法律第79号として公布、施行されました。

本学職員に関する給与等の改正内容は次のとおり。

1. 俸給表の改定

俸給表が別記のとおり、平成2年4月1日にさかのぼって改定された。また、初任給基準が改正され、一部の在職者については、昇給期の短縮が図られ調整されている。

2. 諸手当に関する改正

主な改正要点は次のとおり。

3. その他

通勤による災害を受けた職員の給与上の取扱いについて、公務上の負傷、疾病と同様、平成3年1月1日から全額支給されることとなった。

〔諸手当改正要点一覧〕

給 与 種 目	改 正 要 点	根拠法令等 (適用年月日)
初任給調整手当	1 医師(医(-)適用者) 支給額 最高 255,000円→265,000円 2 医系教官(医師免許所有者 (医(-)適用者を除く)) 支給額 初年度 45,500円→47,000円 (6年間据置) 支給期間 35年(改正なし)	(2.4.1) 法10条の3,1項 規則9-34,別表

非常勤職員の給与	委員、顧問、参与等の給与の引き下げ 1日 29,600円→31,100円	(2.4.1) 法22条1項										
俸給の調整額	定額表の改正 ただし書の一部削除	(2.4.1) 規則9-6,別表第2										
教職調整額等	<p>教職調整額が支給されない職員(教頭)の加算額の引上げ</p> <p>教(二)3級の者 >6,100円→6,300円 教(三)3級の者</p> <p>ただし、次に掲げる場合にあつては、それぞれの額を6,100円に加算する。</p> <p>1 教(二)3級17号俸の者………900円 (直前に教(二)2級33号俸を受けている場合に限る)</p> <p>2 教(三)3級22号俸の者………1,800円 (直前に教(三)2級38号俸を受けている場合に限る)</p>	(2.4.1) 規則9-57, 3条										
住居手当	<p>1 借家、借間に係る手当額の引上げ</p> <p>最高支給限度額 21,000円→23,000円 (最高支給限度額に対する家賃額 43,500円→47,000円)</p> <p>基礎控除額 11,000円(改正なし)</p> <p>全額支給限度額 9,500円→10,000円 (全額支給限度額に対する家賃額 20,500円→21,000円)</p> <p>½加算限度額 11,500円→13,000円</p> <p>2 住宅居住者 1,000円(新築等の場合, 当該日から5年, 2,500円)(改正なし)</p>	(2.4.1) 法11条の7, 1項, 2項										
期末・勤勉手当	<p>手当額の引上げ</p> <p>期末手当</p> <p>3月期 0.5月分→0.55月分 6月期 1.5月分→1.6月分 12月期 1.9月分→2.0月分</p> <p>(期末・勤勉手当 年間支給割合 5.1月分→5.35月分)</p> <p>新たな加算額の導入</p> <p>官職の職制上の段階、職務の級等を考慮した区分に応じ、俸給の月額及びこれに対する調整手当の月額の合計額の100分の20以内の額を加算する。</p> <table border="1" data-bbox="472 1962 1091 2056"> <tr> <td>俸給表</td> <td>I 20%</td> <td>II 15%</td> <td>III 10%</td> <td>IV 5%</td> </tr> <tr> <td>行(一)</td> <td>11~10</td> <td>9~8</td> <td>7~6</td> <td>5~4</td> </tr> </table>	俸給表	I 20%	II 15%	III 10%	IV 5%	行(一)	11~10	9~8	7~6	5~4	(2.4.1) 法19条の3, 19条の4
俸給表	I 20%	II 15%	III 10%	IV 5%								
行(一)	11~10	9~8	7~6	5~4								

行政職俸給表(一)

職務の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	9 級	10 級	11 級
号 俸	俸給月額										
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
1	-	-	157,300	185,100	201,500	220,300	238,400	258,200	289,600	325,500	371,000
2	113,600	143,100	163,400	193,200	210,200	229,300	247,600	267,900	301,400	338,200	386,500
3	117,300	149,900	169,800	201,400	219,100	238,300	256,900	277,700	313,200	350,900	402,000
4	121,200	157,200	176,400	210,000	227,700	247,400	266,300	287,600	325,000	363,700	417,400
5	125,600	162,900	183,200	218,800	236,300	256,500	275,800	297,700	337,000	376,600	432,800
6	130,800	167,700	190,700	227,300	244,800	265,600	285,300	307,800	349,000	389,500	448,200
7	136,100	172,500	198,100	235,600	253,300	274,800	294,900	317,900	361,200	402,500	463,600
8	141,200	177,300	205,400	243,800	261,600	284,100	304,600	327,900	373,400	415,300	479,000
9	145,300	181,500	211,800	251,700	270,000	293,400	314,300	337,900	385,400	428,000	493,900
10	148,600	185,800	217,900	259,500	278,200	302,900	323,900	347,900	397,100	440,200	508,800
11	151,400	190,000	223,700	267,400	286,300	312,500	333,300	357,900	408,200	450,700	520,200
12	154,200	194,300	229,400	275,300	294,100	321,900	342,600	367,800	419,300	460,600	527,700
13	156,700	198,500	235,000	282,600	301,700	331,100	351,500	377,300	428,800	468,900	534,800
14	158,900	201,800	240,200	289,900	309,100	340,000	359,400	386,600	436,300	476,300	541,200
15	161,000	204,900	245,200	296,300	315,200	348,200	366,400	394,200	443,600	480,900	546,000
16	162,600	208,000	250,100	302,600	320,800	354,800	372,700	401,300	448,700		
17		211,000	254,600	307,100	325,900	361,000	378,200	406,000	453,500		
18		213,900	258,400	311,100	330,100	365,500	383,000	410,400	457,800		
19		215,900	262,000	315,000	334,100	369,800	387,400	414,800			
20			264,800	317,900	337,600	374,000	391,700	418,900			
21			267,600	320,700	340,800	378,200	395,800	422,700			
22			270,300	323,500	344,100	382,300	399,500				
23			273,000	326,300	347,400	386,200					
24			275,400	329,200	350,600	389,800					
25			277,900	332,000	353,500						
26			280,300	334,800	356,300						
27			282,600	337,300							
28			284,900	339,700							
29			287,200								
30			289,400								
31			291,600								

備考 この表は、他の俸給表の適用を受けないすべての職員に適用する。ただし、第二十二条及び附則第三項に規定する職員を除く。

行政職俸給表(二)

職務の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円	円
1	-	139,200	156,000	172,200	195,900	222,600
2	101,800	145,200	161,400	177,700	202,400	229,400
3	105,000	150,500	166,800	183,400	208,900	236,300
4	108,100	156,000	172,200	189,600	215,500	243,900
5	111,000	160,800	177,600	195,900	222,000	251,600
6	114,400	165,600	183,300	202,200	228,500	259,600
7	118,300	170,300	189,200	208,000	234,700	267,600
8	122,400	175,000	195,100	213,600	240,500	275,600
9	127,300	179,700	201,000	219,200	246,100	283,700
10	132,900	184,500	206,600	224,700	251,700	291,600
11	139,200	189,400	212,000	229,700	257,300	299,400
12	145,200	194,200	217,100	234,800	262,900	307,000
13	150,400	199,000	222,200	239,900	268,600	314,700
14	155,500	203,500	227,000	245,000	274,100	321,400
15	159,900	208,000	231,800	250,000	279,400	328,000
16	164,100	212,100	236,600	255,100	284,600	334,500
17	168,000	216,000	241,500	259,600	289,600	341,000
18	171,900	219,700	246,500	263,800	294,300	346,800
19	175,100	223,500	251,000	267,500	298,700	352,300
20	177,800	226,100	255,200	271,100	302,900	357,100
21	180,500	228,400	258,500	274,400	306,800	361,900
22	183,200	230,700	261,500	277,600	310,600	366,400
23	186,000	233,000	264,100	280,600	313,400	369,800
24	188,600	235,100	266,700	283,600	316,100	
25	191,000	237,200	269,100	286,300	318,600	
26	193,200	239,300	271,500	288,900	321,000	
27	195,400	241,500	273,800	291,400		
28	197,500	243,700	276,100	293,600		
29	199,600	245,800	278,300	295,800		
30	201,600	247,800	280,500			
31	203,400	249,700	282,500			
32	205,200	251,600				

備考 この表は、機器の運転操作、庁舎の監視その他の庁務及びこれらに準ずる業務に従事する職員で人事院規則で定めるものに適用する。

指定職俸給表

号 俸	俸給月額 円
1	518,000
2	573,000
3	637,000
4	706,000
5	760,000
6	817,000
7	888,000
8	958,000
9	1,025,000
10	1,092,000
11	1,157,000
12	1,180,000

備考 この表は、事務次官、外局の長、大学の学長、試験所又は研究所の長、病院又は療養所の長その他の官職を占める職員で人事院規則で定めるものに適用する。

教育職俸給表 (一)

職務の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級
号 俸	俸給月額 円	俸給月額 円	俸給月額 円	俸給月額 円	俸給月額 円
1	-	-	212,900	244,100	312,300
2	136,100	170,200	221,300	254,600	323,800
3	142,700	178,700	229,900	265,300	335,600
4	150,700	187,200	238,700	276,100	347,300
5	159,000	195,800	248,200	287,000	359,000
6	165,600	204,300	257,900	298,000	371,100
7	172,500	212,800	267,900	309,000	383,200
8	179,600	221,200	277,900	319,900	395,200
9	187,500	229,700	287,800	330,700	407,100
10	195,900	238,500	297,600	341,200	419,000
11	202,500	247,300	307,100	351,200	430,900
12	210,500	256,100	316,400	360,500	442,800
13	218,200	264,700	325,600	369,600	454,700
14	225,600	272,400	334,700	378,600	466,700
15	232,300	279,900	343,800	387,300	478,700
16	239,000	286,800	352,500	395,800	490,400
17	245,300	293,300	360,900	404,100	500,800
18	251,500	299,800	369,300	412,400	511,100
19	257,700	306,300	377,500	420,400	521,200
20	263,600	312,600	385,700	427,800	530,700
21	269,500	318,800	393,500	435,000	539,400
22	275,100	325,000	401,300	442,200	546,000
23	280,300	330,900	408,200	448,600	551,300
24	285,500	336,800	414,700	455,000	556,100
25	289,700	342,600	419,300	460,700	
26	293,800	347,600	423,000	464,700	
27	297,600	351,600	426,700	468,500	
28	301,300	355,100	430,400	472,000	
29	304,000	358,600	433,600		
30	306,700	362,100	436,800		
31	309,400	365,600			
32	312,100	369,000			
33	314,600	372,300			
34	317,100	375,400			
35	319,600	378,400			
36	322,000	381,400			

備考 この表は、大学及びこれに準ずるもので人事院の指定するものに勤務する教授、助教授、講師、

教育職俸給表 (二) 助手その他の職員で人事院規則で定めるものに適用する。

職務の級	1 級	2 級	3 級	4 級
号 俸	俸給月額 円	俸給月額 円	俸給月額 円	俸給月額 円
1	-	-	267,400	361,100
2	124,400	160,400	277,100	371,300
3	129,900	167,300	286,600	381,400
4	135,600	174,100	296,200	391,600
5	142,100	181,000	305,700	401,800
6	149,600	188,000	315,200	412,000
7	157,400	195,000	324,700	422,200
8	163,800	202,100	334,100	432,200
9	170,300	209,700	343,800	442,200
10	177,100	217,700	353,500	452,300
11	183,600	225,900	363,100	462,100
12	190,100	235,000	372,800	471,300
13	196,900	244,400	382,000	479,400
14	204,200	253,700	391,300	487,300
15	211,400	263,100	400,400	491,900
16	218,900	272,300	409,400	
17	226,000	281,500	418,300	
18	233,300	290,800	427,300	
19	240,400	299,900	436,200	
20	246,800	309,000	444,300	
21	253,200	318,000	452,100	
22	259,200	327,000	459,700	
23	265,200	335,900	466,800	
24	271,100	344,900	471,000	
25	276,900	353,400		
26	282,600	361,300		
27	288,100	369,200		
28	293,300	377,200		
29	298,500	385,000		
30	302,300	391,900		
31	305,900	398,500		
32	309,500	404,100		
33	312,700	409,100		
34	315,400	413,900		
35	317,800	418,600		
36	320,300	421,600		
37	322,800			
38	325,300			
39	327,500			
40	329,700			

備考 この表は、高等学校及びこれに準ずるもので人事院の指定するものに勤務する校長、教頭、教諭、養護教諭、助教諭、実習助手その他の職員で人事院規則で定めるものに適用する。

教育職俸給表 (三)

職務の級	1 級	2 級	3 級	4 級
号 俸	俸給月額 円	俸給月額 円	俸給月額 円	俸給月額 円
1	-	-	229,000	357,100
2	124,400	136,800	238,500	366,300
3	129,900	144,100	248,100	375,400
4	135,600	151,600	257,700	384,300
5	142,100	160,400	267,400	393,400
6	149,600	167,300	277,100	402,500
7	157,400	174,100	286,600	411,500
8	163,800	181,000	296,200	420,200
9	170,300	188,000	305,700	428,100
10	176,900	195,000	315,100	436,000
11	183,000	202,100	324,400	443,300
12	189,200	209,700	332,900	450,400
13	195,500	217,700	341,400	456,400
14	202,200	225,900	350,000	461,800
15	208,600	235,000	358,500	465,900
16	215,000	244,400	366,800	
17	221,400	253,700	375,000	
18	227,500	263,100	383,300	
19	233,400	272,300	391,600	
20	239,100	281,500	399,700	
21	244,500	290,800	407,300	
22	249,700	299,800	414,000	
23	254,600	308,800	420,300	
24	259,200	317,700	425,500	
25	263,100	325,900	429,800	
26	266,800	333,800	433,500	
27	270,100	341,600	436,800	
28	273,000	349,200	439,800	
29	275,600	356,400		
30	278,100	363,300		
31	280,400	369,900		
32	282,800	376,300		
33	284,900	382,200		
34		388,100		
35		393,200		
36		397,600		
37		401,800		
38		405,800		
39		408,400		

備考 この表は、中学校、小学校、幼稚園及びこれらに準ずるもので人事院の指定するものに勤務する校長、園長、教頭、教諭、養護教諭、助教諭その他の職員で人事院規則で定めるものに適用する。

医療職俸給表(二)

職務の級 号 俸	1 級 俸給月額	2 級 俸給月額	3 級 俸給月額	4 級 俸給月額	5 級 俸給月額	6 級 俸給月額	7 級 俸給月額	8 級 俸給月額
1	-	-	173,400	195,300	229,300	267,900	300,000	363,200
2	117,500	147,500	180,200	203,400	238,500	277,700	312,000	376,200
3	122,000	153,800	187,300	211,500	247,900	287,600	324,000	389,500
4	127,500	160,100	195,200	219,900	257,300	297,700	336,100	402,900
5	133,100	166,300	203,200	228,300	266,800	307,800	348,300	416,200
6	139,200	172,500	211,200	236,700	276,400	317,900	360,600	429,500
7	145,700	178,800	219,500	245,300	285,800	327,900	372,900	442,900
8	152,000	184,900	227,700	253,800	295,200	337,900	385,100	456,400
9	158,100	192,000	236,000	262,300	304,600	347,900	397,100	469,500
10	163,500	199,100	244,300	270,800	314,100	357,900	408,200	482,400
11	168,400	206,000	252,200	279,000	323,500	367,800	419,300	490,200
12	173,200	212,200	260,100	287,100	332,500	377,300	428,800	497,200
13	177,800	218,400	267,800	295,000	341,100	386,600	436,300	503,800
14	181,800	224,400	275,500	302,700	349,300	394,200	443,600	510,100
15	186,000	230,100	283,000	310,400	356,100	401,300	450,900	515,700
16	190,200	235,700	290,200	316,400	362,700	406,000	455,600	520,200
17	194,500	240,900	297,000	322,100	368,300	410,400		
18	198,700	246,000	303,700	327,800	373,700	414,800		
19	202,100	250,800	308,500	332,000	378,200	418,900		
20	205,100	255,400	312,900	336,100	382,400	422,700		
21	208,000	259,000	316,800	339,900	386,500			
22	210,400	261,800	319,900	343,600	390,400			
23	212,400	264,500	322,700	346,900	394,000			
24		267,100	325,500	350,000				
25		269,600	328,300	352,800				
26		271,800	331,100	355,600				
27			333,800					
28			336,200					
29			338,600					

備考 この表は、病院、療養所、診療所等に勤務する薬剤師、栄養士その他の職員で人事院規則で定めるものに適用する。

医療職俸給表(三)

職務の級 号 俸	1 級 俸給月額	2 級 俸給月額	3 級 俸給月額	4 級 俸給月額	5 級 俸給月額	6 級 俸給月額
1	-	-	179,800	199,600	229,800	262,500
2	123,500	144,700	185,400	206,600	237,900	271,700
3	128,000	151,600	192,500	213,800	246,100	281,000
4	132,900	158,700	199,500	221,000	254,100	290,600
5	137,800	163,900	206,400	228,300	262,100	300,300
6	144,700	169,100	213,400	235,600	270,100	310,000
7	151,500	174,300	220,500	243,000	277,900	319,600
8	158,500	179,600	227,500	250,400	285,600	329,300
9	163,700	184,800	234,600	257,800	293,300	339,100
10	168,800	190,800	241,600	265,100	300,800	348,900
11	173,800	196,800	248,600	272,400	308,400	358,700
12	178,800	202,700	255,600	279,700	316,000	368,300
13	183,600	208,400	262,600	286,800	323,600	377,800
14	188,400	214,100	269,800	293,900	331,200	387,000
15	193,500	219,800	276,900	300,900	338,900	396,100
16	198,900	225,400	283,800	307,700	346,600	404,500
17	204,200	231,000	290,400	314,500	353,900	412,700
18	209,400	236,400	297,000	321,200	360,300	420,300
19	214,600	241,700	303,500	327,900	365,400	427,100
20	219,700	247,200	309,800	333,700	370,100	431,600
21	224,500	252,600	316,100	339,200	374,800	435,700
22	229,200	257,900	322,000	344,500	378,700	439,400
23	233,700	263,300	327,100	348,600	382,200	
24	237,800	268,700	332,000	352,500	384,900	
25	241,600	274,100	336,600	355,900		
26	245,400	279,300	340,100	359,100		
27	249,000	284,000	343,600	362,000		
28	252,400	288,300	346,500	364,600		
29	255,100	292,600	349,400			
30	257,700	295,400	352,100			
31	260,300	298,100	354,600			
32	262,800	300,700				
33	265,200	303,400				
34	267,500	306,000				
35	269,700	308,400				
36	271,900	310,800				
37		313,200				

備考 この表は、病院、療養所、診療所等に勤務する保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦その他の職員で人事院規則で定めるものに適用する。

湾岸戦争に伴う海外渡航の自粛及び国際テロ への警戒について

このたび、外務省から湾岸戦争の勃発に伴い、海外渡航の自粛及び国際テロへの警戒について情報が発出されました。

については、下記の国への渡航を極力自粛又は延期されるようお願いいたします。

また、海外渡航に際しては、テロ活動に十分警戒されるようお願いいたします。

記

サウディ東部州、バハレーン、カタール、イラク、
クウェイト、サウディアラビア・リヤド市、ジョルダン、
イスラエル、シリア、アラブ首長国連邦、トルコ、
エジプト、チュニジア、アルジェリア、イエメン、イラン、
パキスタン、ナイジェリア、スーダン

平成3年春季全国火災予防運動の実施

(実施期間) 平成3年3月1日(金)～3月7日(7日間)

(統一標語) 「まず消そう 火への鈍感 無関心」

(火の用心 7つのポイント)

- 1 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- 2 子供は、マッチやライターで遊ばせない。
- 3 風の強い時は、たき火をしない。
- 4 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- 5 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- 6 風呂の空だきをしない。
- 7 ストープには、燃えやすいものを近づけない。

上記火災予防運動が実施されるに際し、本学においても火災予防思想を十分認識するとともにストーブなどの火気及び引火性の薬品、ボンベなどの管理の徹底と点検に努め、火災予防に万全を期しましょう。

— シリーズ —

郵便豆知識 ⑥

国際郵便

今回は、船便の通常郵便物の料金と外国あて通常郵便物の地帯別標準送達所要日数について紹介いたします。

船便通常郵便物の料金

種 類	重 量	料 金	
書 状	20 g まで	80 円 (70円)	
	50 g まで	160 円 (120円)	
	100 g まで	270 円 (170円)	
	250 g まで	540 円 (330円)	
	500 g まで	1,040 円 (630円)	
	1 kg まで	1,800 円 (1,080円)	
	2 kg まで	2,930 円 (1,760円)	
郵便はがき	—	60 円 (50円)	
印 刷 物	内国第三種及び 学術刊行物に相 当するもの	50 g まで	60 円
		100 g まで	80 円
		250 g まで	130 円
		500 g まで	220 円
		1 kg まで	390 円
		2 kg まで	540 円
		2 kg を超える 1 kg までごとに	270 円 増
	その他のもの	20 g まで	70 円
		50 g まで	100 円
		100 g まで	130 円
		250 g まで	220 円
		500 g まで	430 円
		1 kg まで	770 円
		2 kg まで	1,080 円
特別郵袋印刷物	内国第三種及び学術刊 行物に相当するもの	5 kg まで	1,350 円
		5 kg を超える 1 kg までごとに	270 円 増
	その他のもの	5 kg まで	2,200 円
		5 kg を超える 1 kg までごとに	450 円 増
小 形 包 装 物	100 g まで	130 円	
	250 g まで	220 円	
	500 g まで	430 円	
	1 kg まで	770 円	
	2 kg まで	1,080 円	

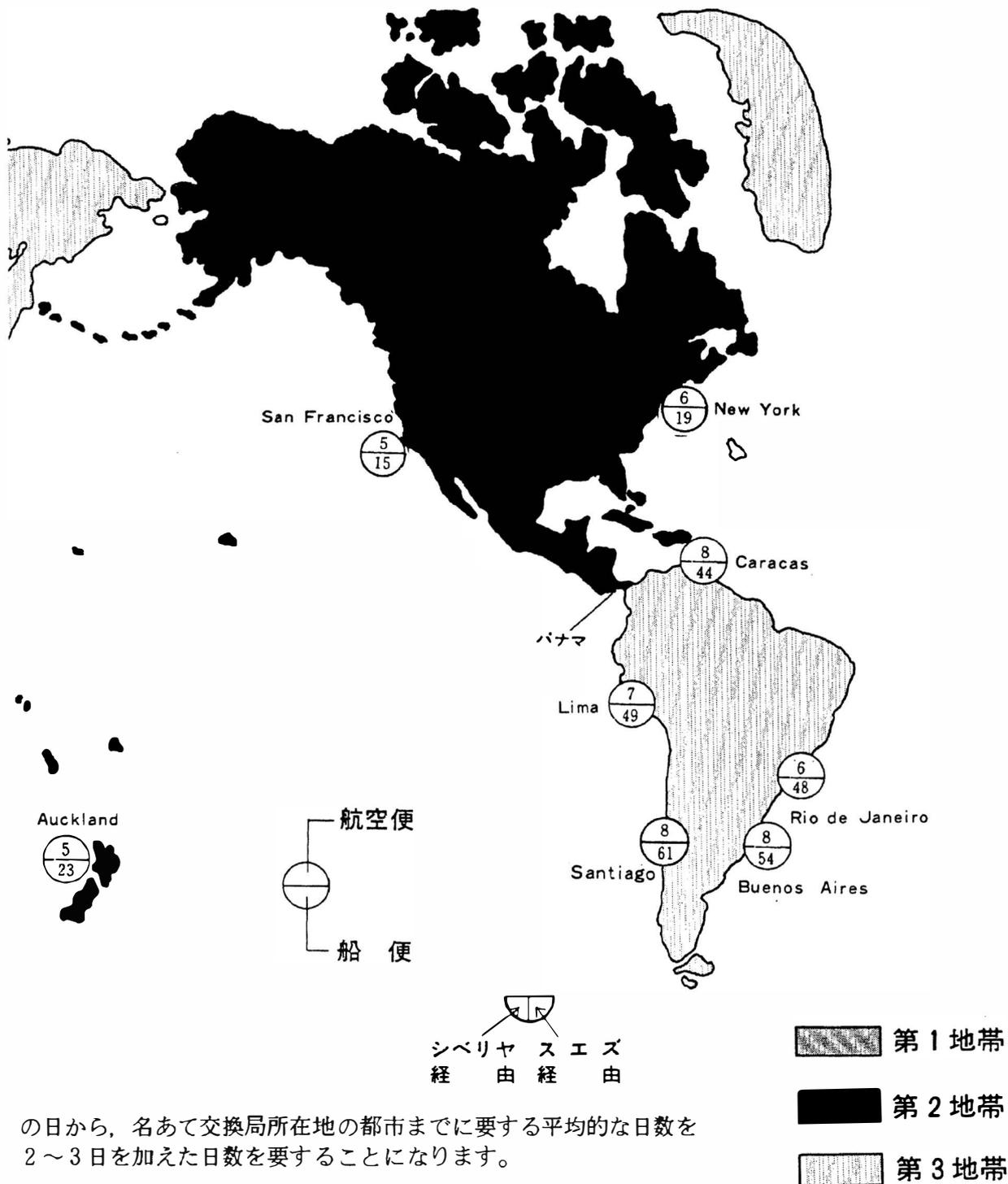
(注) ()内の料金は、アジア=太平洋郵便連合の加盟国(オーストラリア、バングラデシュ、ブータン、中華人民共和国、韓国、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルジブ、ナウル、ネパール、ニュージーランド、パキスタン、バブア・ニューギニア、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ及びベトナム)にあてるときに限り適用されます。

外国あて航空通常郵便物の



- (注) 1. この表に掲げる送達所要日数は、東京国際郵便局における引受示しています。従って、実際に配達される日数は、上記日数に
2. ヨーロッパ諸国あての船便送達所要日数は、送達経路の関係上、

地帯別と標準送達所要日数表



- 6日 富山地区国立学校等人事担当課長会議
(於：富山商船高等専門学校)
- 7日 第8回学寮補導委員会
- 10日 設備要求学内ヒアリング
- 11日 北陸地区国立学校施設担当者連絡協議会
(於：福井大学)
- 11～12日 平成2年度厚生補導研究会
(於：ホテル天望閣)
- 13日 本学教職員と外国人留学生との懇談会
平成3年度大学入試センター試験入試担当者連絡協議会(第2回)(於：東京イイノホール)
- 14日 第10回評議会
第80回構内交通対策委員会
推薦入学・社会人特別選抜合格者発表
- 15～21日 人文学部推薦入学願書受付
- 17日 部課長会議
第12回事務協議会
第3回事務電算化委員会
- 18日 平成3年公開講座第1回委員会
学務関係職員の打合せ会
- 20日 第2回国際交流委員会学術交流部会
- 28日 御用納め

人文学部

- 11月1日 学術講演会
(中央大学文学部教授 丸山 圭三郎)
係長会議
- 2日 人文科学研究科教務等検討委員会
事務連絡会
- 7日 紀要委員会
教授会
人文科学研究科委員会
- 10～16日 帰国子女・社会人特別選抜願書受付
- 14日 真率会役員会
- 16日 係長会議
- 20日 事務連絡会
- 21日 教授会
人事教授会
- 26日 事務連絡会
- 30日 係長会議

- 12月5日 社会人特別選抜試験
- 7日 学部長、評議員打合せ会
- 11日 学部教務委員会
- 12日 教授会
人事教授会
人文科学研究科委員会
- 14日 社会人特別選抜合格者発表
- 15日 授業終了
- 15～21日 推薦入学願書受付
- 19日 事務連絡会

教育学部

- 11月1日 学部カリキュラム委員会
- 8日 大学院設置準備委員会
- 9～15日 附属養護学校入学願書・附属幼稚園入園願書受付
- 10～11日 日本教育大額協会北陸地区教育学・教育心理学・特殊教育・幼児教育部門研究協議会
(於：富山大学)
- 13日 学部予算委員会
- 14日 学部教務委員会
教授会
- 16日 日本教育大学協会北陸地区会教育実践研究指導研究協議会
(於：金沢大学)
- 20日 教育実習委員会
- 28日 学部職業補導委員会
特別昇給問題検討委員会
- 12月3日 教育実習運営協議会
- 5日 大学院設置準備委員会
人事教授会
- 6日 附属養護学校入学者選考
附属幼稚園入園者発育検査(3才児)
- 7日 附属幼稚園入園者発育検査(4才児)
附属養護学校入学者合格発表
- 10日 附属幼稚園第2次選考(抽選)
- 12日 学部図書委員会
- 13日 入学者選抜方法検討委員会
- 19日 教務委員会
教授会
人事教授会

附属幼稚園第2学期終業式
 21日 附属小学校, 附属中学校第2学期終業式
 22日 附属養護学校第2学期終業式

22日 授業(第10週)終了
 25日 コンピュータ管理運営委員会
 26日 学部教務委員会(持ち回り)

経済学部

11月1日 係長会議
 2日 係長会議
 7日 人事教授会
 教授会
 9日 第7回夜間主コース設置9大学懇談会
 (於:KKR東京竹橋)
 14日 留学生との打合せ会
 学部教務委員会
 16日 平成2年度秋季国立11大学経済・経営学部
 長及び事務長会議(於:東京郵便貯金会館)
 19日 学部教務委員会(持ち回り)
 学部入学方法検討委員会(持ち回り)
 20日 係長会議
 21日 人事教授会
 教授会
 22日 係長会議
 28日 日本海経済研究所公開講演会
 30日 係長会議
 12月2日 推薦入学・社会人特別選抜試験
 3日 係長会議
 5日 学部職業補導委員会
 推薦入学「昼間主コース」選考委員会
 推薦入学「夜間主コース」及び社会人特別
 選抜選考委員会
 7日 学部将来構想検討委員会
 11日 日本海経済研究所運営委員会
 12日 人事教授会
 教授会
 係長会議
 15日 日本海経済研究所研究会
 17日 夜間主コース運営委員会
 係長会議
 19日 学部教務委員会
 人事教授会
 教授会

理学部

11月1日 係長会議
 2日 学部補導委員会(持ち回り)
 事務連絡会
 5日 動物実験委員会(持ち回り)
 7日 有機微量分析装置運営委員会
 8日 学術講演会
 (京都大学薬学部教授 町田 勝之輔)
 10~16日 推薦入学, 帰国子女・社会人特別選抜願書
 受付
 14日 学部教務委員会
 真率会役員会
 16日 係長会議
 20日 事務連絡会
 21日 教授会
 理学研究科委員会
 人事教授会
 22日 有機微量分析装置運営委員会
 26日 事務連絡会
 27日 学部教務委員会
 30日 係長会議
 12月1日 学術講演会
 (コペンハーゲン大学准教授H.B.クラセン)
 5日 推薦入学, 社会人特別選抜試験
 6日 有機微量分析装置運営委員会
 12日 教授会
 教官会議
 12日 理学研究科委員会
 人事教授会
 14日 推薦入学, 社会人特別選抜合格者発表
 19日 事務連絡会
 20日 有機微量分析装置運営委員会
 22日 学術講演会
 (雪氷学講座10周年記念)
 授業終了
 25日 大学院構想懇談会

工 学 部

- 11月1日 係長連絡会
技官待遇改善検討委員会技官部会
- 8日 技官待遇改善対策委員会技官部会
学部入学試験検討委員会
- 9日 学部教務委員会
学部補導委員会
事務連絡会
係長連絡会
- 10日 学部入学試験検討委員会
- 13日 科学技術に関する行政監察
- 14日 教授会
工学研究科委員会
専任教授会
工場運営委員会
博士課程設置準備委員会
- 15日 科学技術に関する行政監察
- 22日 技官待遇改善検討委員会技官部会
係長連絡会
- 26日 博士課程設置準備委員会
- 28日 科学技術に関する行政監察
- 29日 学部将来計画委員会
- 12月3日 学部安全委員会
- 5日 推薦入学試験
- 6日 北陸信越工業教育協会富山県支部幹事会
技官待遇改善検討委員会技官部会
学部将来計画委員会
- 11日 学部概要編集委員会
- 12日 教授会
工学研究科委員会
専任教授会
- 14日 推薦入学合格者発表
学部概要編集委員会
- 19日 交通安全講習会
工学部温交会役員会
- 20日 学部安全委員会専門部会
技官待遇改善検討委員会技官部会
- 21日 学部教務委員会
- 25日 係長連絡会

教 養 部

- 11月7日 推薦委員会
補導委員会
- 14日 予算委員会
将来計画委員会
- 21日 教授会
- 28日 紀要委員会
- 12月5日 将来計画委員会
- 12日 人事教授会
教授会
- 19日 教官定員配置検討委員会
将来計画委員会
- 22～
1/12日 冬季休業

附 属 図 書 館

- 11月
- 1～2日 平成2年度北信越地区国立大学図書館研修会（於：長岡技術科学大学附属図書館）
第4回国立大学図書館協議会シンポジウム（於：京都大学附属図書館）
- 5日 係長事務打合せ会
- 16～
12/13日 平成2年度総合目録データベース実務研修（於：学術情報センター）
- 20～21日 北信越地区国立大学図書館事務（部・課）
長会議（於：上越教育大学附属図書館）
- 12月26日 第4回附属図書館商談会
- 26～29日 平成2年度国立大学図書館職員講習会（於：京都大学附属図書館）
- 12月3日 係長事務打合せ会
- 18日 係長事務打合せ会

水素同位体機能研究センター

- 11月14日 科学技術に関する行政監察
- 15日 R・I教育訓練講習会
- 12月13日 R・I教育訓練講習会

地域共同研究センター

- 11月20日 科学技術に関する行政監察
21日 経営者研究者交流会
12月3日 先端企業見学研修
3～14日 先端技術研修「電子デバイスコース」

保健管理センター

- 11月27日 婦人科検診

冬将軍の到来で五福地区構内の交通規制に協力を!!

1月に入り本格的な冬将軍の到来となりました。このため、冬期積雪時には、五福地区構内の交通規制が次のとおり定められていますので、お互いに十分注意し構内の交通規制を遵守しましょう。

1. 冬期積雪時、特に大雪注意報が発令されると予想される場合は、車両による通勤通学は自粛するものとする。
2. 駐車禁止区域以外の道路の駐車は、除雪の支障にならないよう注意する。
3. 大雪及び除雪作業等で車両の入構を規制したり、禁止したりする場合は、掲示する。
4. 積雪時は、各部局前の外来者駐車帯に車両を駐車させることができる。
5. 夜間は、管理・研究・教育等に従事する者及び夜間主コース学生等以外は、構内に車両を駐車させることができない。また、降雪時には、翌日にかけての駐車は原則として認めない。
6. 除雪の際、障害となる車両は移動させるが、その場合車両に損傷が生じても大学はその責任を負わない。また、車両の除去のために費用が必要となる場合の費用は、当該車両を所有する者の負担とする。

編集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電話 (24) 1755代